

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日：2023年7月31日
研究課題名：日本の病院における高齢者のエンドオブライフケア質評価票の開発 —研究3：質評価票案 Ver. 4 の実践適応による実行可能性と有用性の検討
研究期間：倫理審査承認後～ 2023年12月31日
研究対象：病棟で勤務している看護管理職1名と看護職スタッフ6名程度、入院高齢者5名程度
対象材料： <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 ■その他（インタビューのデータ、アンケートのデータ、電子カルテや看護記録などによるデータ）
上記材料の対象期間 西暦 2023年9月～2023年12月
意義・目的： 本研究は、病院に勤務する病棟の看護管理者と看護師にエンドオブライフケアの質評価票案を使用し、それが日々のケアに活かせるか、よりよい看護ケアとして効果が得られるかを検討することを目的としています。個々の看護師や病棟チームが質評価票を使い、日々の高齢者のエンドオブライフケアのケアの内容や方法、日々の看護の質を自己評価することによって、看護ケアの課題を明らかにします。そして、エンドオブライフケアの時期にある高齢者に対して、質評価票案の内容を活かした看護計画を立てて看護を行います。それによって、入院病棟における高齢者のエンドオブライフケアの質の向上やよりよいケアへつながることが見込まれます。
方法：対象となる病棟で、看護管理者と看護師を対象とする「ケアの質向上グループ」を作り、質評価票案を使用して看護を行えるように学習します。その後、質評価票案に沿って、日々のケアの質を評価し、優先的に改善に取り組むケアを拾いあげます。そして質評価票案の項目の内容を活かして看護計画を立案して、日々のケアを行います。質評価票案を使用する前と後で、看護管理者と看護師にアンケート調査やインタビューを行います。さらに、入院されている高齢者にもアンケートに協力をして頂き、ケアに質評価票を用いることができるか、よりよい看護ケアにつながるかを評価します。個人情報とデータは対応表を作成し、別々に管理し、データ解析の時に個人が特定されないようにします。論文投稿後10年間、アンケートとインタビューデータなどを鍵のかかる部屋に厳重に保管し、その後、細断して破棄します。研究への協力は自由意思にて決めていただくことができます。対象となる方は研究への協力をお断りされても、一切の不利益を被ることはありません。研究のご協力を撤回される場合は下記の問い合わせ先へご連絡ください。但し、データが分析されている、またはすでに研究結果が公表されているなど、場合によってはご希望に添えない場合もございます。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院 看護部 石井 智恵理（代表番号 029-851-3511）